



9th International Conference

on Global Research and Education

August 9 - 12, 2010
Riga, LATVIA

2010年2月

Inter-Academia 2010 (9th IA)のご案内

1. Inter-Academia について

Inter-Academia は、静岡大学のリーダーシップの基に、「Global Brain Network の構築」をキャッチフレーズとして 2002 年以来毎年東欧の協定大学が幹事校となって開催してきた国際会議です。大学院生、教職員、協賛企業研究者などによる最新の研究発表を中心に、開催大学の研究施設見学の他、参加者交流のためのイベントを含む国際会議として定着してきました。

参加大学は、第 1 回（2002 年、スロバキア）の 4 協定大学から、第 5 回（2006 年、ルーマニア）では 6 大学に拡大され、静岡大学が幹事校となって開催された第 6 回（2007 年、日本）はアジアの協定大学にも参加を呼びかけ、25 大学、190 名超の参加者がありました。昨年の第 8 回はワルシャワ工科大学が幹事大学となり、ポーランドの郊外 Kazimierz Dolny において開催され、静岡大学、欧州協定校および企業から総勢 90 名ほどの参加者がありました。発表論文数は 60 件で、理工情報系を中心に幅広い分野から発表が行われました。なお、Inter-Academia への参加校は、次第に広がりを見せ始めており、本学の協定大学という枠組みに限定されず拡大してきています。

今回の第 9 回 Inter-Academia は、リガ工科大学が幹事大学となり、バルト 3 国のひとつであるラトビアの首都リガにおいて開催されます。例年、9 月に開催されておりましたが、今回は快適な気候が期待できる 8 月前半の開催となりました。従いまして、例年に比べてすべての日程が大幅に早まることとなります。是非多くの学生教職員の皆様に参加いただけますようお願い申し上げます。

2. Inter-Academia2010 の概要

* Inter-Academia2010 の情報は HP http://www.gsest.shizuoka.ac.jp/070228iac/index_j.html に随時掲載します。（静岡大学公式ホームページトップ→Inter-Academia Community）IA2010 オフィシャル HP（リガ工科大学現地実行委員会）にもこちらから近々リンクできます。

- 1 会 期：2010年8月9日（月）～8月12日（木）
（9日（ウェルカムパーティ）、10～12日（会議））
- 2 開 催 地：リガ工科大学（リガ、ラトビア）
- 3 参加大学（予定13大学）：

リガ工科大学（ラトビア・幹事大学）、静岡大学、ワルシャワ工科大学（ポーランド）、ブダペスト工科大学（ハンガリー）、コメニウス大学（スロバキア）、ヴッパータール大学（ドイツ）、アレクサンドル・アイオアン・クザ大学（ルーマニア）、ゴメルスレート大学（ベラルーシ）、マサリク大学（チェコ）、Budapest Tech（ハンガリー）、キエフ工科大学（NTUU KPI、ウクライナ）、サザンプトン大学（イギリス）、キエフ国立大学（ウクライナ）並びに協定大学と交流のある欧米諸国の大学

4 発表分野：

- Nanotechnology and nanometrology
- Plasma physics
- Photonics
- Electric and Electronic Engineering
- Biomedical Engineering
- Polymers and composites
- Ceramics and glasses
- Automatic Control
- E-learning techniques and education materials

*スコープ（発表分野）に挙げられています項目は例示で、実際はその他の広い分野を包含しています。この例示されている分野に囚われることなく積極的にご投稿ください。

Special Session

若手研究者や学生のための特別セッションを、ショートプレゼンテーション又はポスターセッションにより開催します。

5 アブストラクトの提出：

発表を希望する方は、2ページの講演要旨を作成し、メールにて4月20日までに各自 ia2010@rtu.lv まで送付してください。

6 プロシーディングスについて：

今回のプロシーディングスは、“Materials Science”という英文論文誌（発刊：リトアニア）の特集号として出されます。アブストラクトとは別です。詳細は、追って連絡します。

*分野の異なる方々は違和感を覚えられるかもしれませんが、実際は多くの分野を包含できる、とのこと。すべての発表者はこの論文集への事前投稿をお願いすることになります。この論文集は、会議開催時に参加者全員に配布されます。

7 重要日程：

Submission of extended abstract	4月20日
Notification of acceptance	5月20日
Early registration deadline	6月9日
Submission of camera ready manuscript and early registration deadline	8月9日

8 参加費（静大関係者の参加費の徴収は11項参照）：

- 一般参加者・・・300EUR

（参加費には会議参加費、プロシーディングス、ランチ、コーヒーブレイク、ウェルカムパーティ、Conference Dinner、エクスカージョンが含まれます）

- ・学生参加者・・・150EUR
(参加費内訳は一般参加者と同様)
- ・同伴者・・・200EUR
(参加費にはウェルカムパーティ、ランチ、Conference Dinner、エクスカージョンが含まれます)

9 参加登録について

発表の有無に関わらず、Inter-Academia2010に参加を希望される方は、5ページ目の「Inter-Academia2010参加申込書」を下記にお送りください。静岡大学（及び国内関連機関）からの参加者を把握する必要がありますので、アブストラクトの提出とは別に必ずお願いします。

参加申込書提出先： 国際交流チーム 小林静乃
Email: terao-s@adb.shizuoka.ac.jp
[TEL:054-238-4457](tel:054-238-4457) FAX:054-238-5041

提出期限：2010年4月20日(火) *アブストラクト提出締切と同日です

10 航空券予約：

実行委員会では、静岡大学から参加される方のために航空券予約をとりまとめて行います。今回のInter-Academiaは例年より1ヶ月以上早く、繁忙期である8月中旬開催のため、航空券の団体手配を早めに行う必要があります。下記の旅程・金額のプランで団体予約を行いますので、団体手配をご希望の方は、参加申込書にその旨を記載ください。

8月 9日 (月)	中部国際空港発	11:00 (AY080)	*フィンランド航空
	ヘルシンキ着	15:10	
	ヘルシンキ発	16:10 (AY125)	
	リガ着	17:05	
8月13日 (金)	リガ発	11:15 (AY124)	
	ヘルシンキ着	12:10	
	ヘルシンキ発	17:15 (AY079)	
	中部国際空港着	8:55	

旅行代金：235,000円(航空券+燃油サーチャージ(1月現在))

11 参加費の徴収：

参加費徴収方法については4月下旬通知予定の2nd announcementによりお知らせします。

12 問合せ先：

田部 道晴 (電子工学研究所) 053-478-1307 romtabe@ipc.shizuoka.ac.jp
太田 慎一 (国際交流センター) 054-238-4333 ksota@ipc.shizuoka.ac.jp
青木 徹 (電子工学研究所) rtaoki@ipc.shizuoka.ac.jp
荻野 明久 (創造科学技術大学院) taogino@ipc.shizuoka.ac.jp
<事務担当>
小林 静乃 (国際交流チーム) 054-238-4457 terao-s@adb.shizuoka.ac.jp

3. 参考資料

1 Inter-Academia の実績

	幹事大学	開催地	参加者数
第1回(2002)	Comenius University	Bratislava, Slovakia	67
第2回(2003)	Warsaw University of Technology	Warsaw, Poland	59
第3回(2004)	Budapest University of Technology and Economics	Budapest, Hungary	82
第4回(2005)	Wuppertal University	Wuppertal, Germany	72
第5回(2006)	Alexandru Ioan Cuza University	Iasi, Romania	127
第6回(2007)	Shizuoka University	Hamamatsu, Japan	195
第7回(2008)	Budapest University of Technology and Economics	Pecs, Hungary	90
第8回(2009)	Warsaw University of Technology	Kazimierz Dolny	90
第9回(2010)	Riga Technical University	Riga	

2 中東欧協定大学

静岡大学と大学間協定を締結した中東欧の大学は現在10大学あります。

大学名	国名	所在地	締結年月
Comenius University	Slovakia	Bratislava	1999年2月
Budapest University of Technology and Economics	Hungary	Budapest	1999年3月
Warsaw University of Technology	Poland	Warsaw	2000年11月
Wuppertal University	Germany	Wuppertal	2002年5月
Alexandra Ioan Cuza University	Romania	Iasi	2004年3月
Gomel State University	Belarus	Gomel	2007年5月
Masaryk University	Czech	Brno	2008年6月
Riga Technical University	Latvia	Riga	2009年3月
University of Applied Sciences Jena	Germany	Jena	2008年10月
Technische Universitat Braunschweig	Germany	Braunschweig	2009年4月

3 複数学位認定制度（DDP）覚書締結大学

本学博士課程において推進しているダブルディグリープログラム(DDP)は、学生を協力して指導し、両大学からそれぞれ学位を認定する制度です。

大学名	国名	締結年月
Warsaw University of Technology	Poland	2006年1月
Alexandru Ioan Cuza University	Romania	2007年10月
Gomel State University	Belarus	2008年6月

Inter-Academia 2010 参加申込書

ご氏名	漢字： (外国人の方はカタカナ)	ローマ字： (パスポートに記載の書体でご記入下さい。)
同伴者氏名	漢字： (外国人の方はカタカナ)	ローマ字： (パスポートに記載の書体でご記入下さい。)
所 属	学部／その他の部局名： 学科／専攻名： 指導教員名： e-mail： Tel.	
身 分	・教職員 ・大学院生 (修士 年生、博士 年生) ・学部生 (年生) ・その他 () (いずれかに○を付してください。院生・学生は学年をご記入下さい。)	
現住所	〒 Tel： e-mail:	
ご自身の 発表の有無	・自身の発表あり (アブストラクト提出予定) ・聴講のみ (共著発表があっても、自身の発表がないときはこちら) (いずれかに○を付してください。)	
航空券予約	航空券の団体手配を 希望する () 希望しない ()	

参加申込書提出先：

国際交流チーム 小林静乃

Email: terao-s@adb.shizuoka.ac.jp

TEL: 054-238-4457 FAX: 054-238-5041

提出期限： 4月20日(火)